

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	住宅ストック小委員会	主 査 名：村上 心 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：森本 信明
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「住宅ストック」のマネジメントに関して、わが国及び諸外国の制度や事例等の実態や課題等を把握し、わが国の社会システムや政策提言につながる研究を実施することを目的とする。</li> <li>・①集合住宅（公的賃貸住宅、マンション、民間賃貸住宅等）の管理の適正化及び再生の円滑化</li> <li style="padding-left: 20px;">②戸建住宅及び戸建住宅地の管理の適正化及び再生の円滑化</li> <li style="padding-left: 20px;">③既存住宅の流通や住み替えの円滑化 等</li> <li>・ 2010 年度は、集合住宅（区分所有マンション、公的住宅賃貸住宅）ストックの再生及び戸建住宅地の再生・マネジメントに向けた社会システムについて検討を行った。</li> <li>・ 2011 年度は、上記に加え、既存住宅の流通等に係る社会システムのあり方についての検討及び提案を行う。</li> </ul>	
	委員公募の有無：有	
	主査 村上 心(椋山女学園大学生生活科学部) 幹事 長谷川 洋(国土交通省国土技術政策総合研究所) 幹事 齊藤 広子(明海大学不動産学部不動産学科) 幹事 森田 芳朗 ( ) 委員 阿部 順子(椋山女学園大学生生活科学部) 李 祥準 (イ サンジュン) (早稲田大学理工学部建築学科) 柴田 建(九州大学人間環境学研究院) 関 栄二(明海大学不動産学部不動産学科) 丁 志映(千葉大学都市環境システム学科) 辻 寿一(大阪樟蔭女子大学学芸学部) 高屋 宏(株式会社市浦ハウジング&プランニング) 橋本 真一(財団法人建設物価調査会総合研究所) 山本 理(株式会社長谷工総合研究所) 伊丹 絵美子(香川大学工学部) 濱中 冬行(株式会社アイビーエー環境工学研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	①集合住宅WG：集合住宅のマネジメントに係る研究を行う。 ②戸建住宅地WG：戸建て住宅地のマネジメントに係る研究を行う。 ③住宅流通WG：既存住宅の流通の活性化に資する研究を行う。	
2010 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/keizai/shugou/">http://news-sv.ajj.or.jp/keizai/shugou/</a>

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	

<p style="text-align: center;"><b>催し物</b> (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)</p>	
<p style="text-align: center;"><b>大会研究集会</b></p>	
<p style="text-align: center;"><b>対外的意見表明・パブリックコメント等</b></p>	
<p style="text-align: center;"><b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 当初目標をおおむね達成できた。 2. 「郊外住宅街の再構築に向けた取り組み」「郊外団地の活性化、大規模マンションの維持保全」「集合住宅再生の手法と課題」について整理を行った。</p>
<p style="text-align: center;"><b>委員会活動の問題点・課題</b></p>	<p>1. 委員が東京、大阪、名古屋に分散しており、一堂に会することが難しい。 2. 来年度はWG活動を含め、委員会運営をより活発に行いたい。</p>

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。